

新 知 故 温

Vol. 19

【発行】
2020年(令和2年)
1月6日

祝 開通 新大槌トンネル

L=1,035m
令和元年9月29日

岩崎友一県議会だより



ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。「令和」初めての新年を皆さんはどのような思いで迎えられたでしょうか。

「令和」という凛とした響きには、人口減少への挑戦や多様化する社会への対応、激動する国際社会における平和への思いなど、様々なことを連想します。令和新時代の主役となる若者や子どもたちが夢や希望をもてる時代にしたい。そのために私たち政治家が果たすべき役割と責任の重さを感じながら迎えた新年であります。

さて、昨年10月の台風第19号災害は本県においても沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。ここに、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

私たちは平成23年の東日本大震災津波以降、常に「被災地」、「復旧」、「復興」という言葉と背中合わせの日々を送っておりますが、決して挫けることなく、

着実な事業の推進とその先を見据えた防災・減災の取り組みを全力で進めてまいり所存です。

昨年は、ラグビーワールドカップ2019釜石開催や東北横断自動車道釜石秋田線、新大槌トンネル、三陸鉄道リアス線の全線開通など明るい話題が多くありました。一方、基幹産業である漁業・水産業にとっては、過去に例がない程の不漁であり非常に厳しい一年でありました。また、東日本大震災津波の復興事業が終息に向かう中で、地域経済の低迷がより顕在化されたと感じております。

私たちが抱える課題は多いものの、一つひとつの政策の具現化に努めながら、令和の時代にふさわしい新しい地域づくりに向けて、活動してまいります。

本年も皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年1月6日

岩手県議会議員 岩崎 友一 とも かず

岩崎友一事務所

釜石事務所

〒026-0025 岩手県釜石市大渡町2-6-23 TRYビル2階
TEL: 0193-55-6830 FAX: 0193-55-6831

大槌事務所

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌 23-7-5 (大槌タクシー内)
TEL: 0193-42-2257 FAX: 0193-42-2258

台風第19号災害への対応



山田町 田の浜地区にて



釜石市 尾崎白浜地区にて

10月12日に発生した台風第19号災害に対応するため、自民党岩手県支部連合会では10月15日、県連内に「令和元年台風19号非常災害対策本部」を設置し、被害状況の把握と対応を行いました。

また、岩手県議会においても10月16日、岩手県議会災害対策連絡本部調整会議を立ち上げ、被害状況等の把握・分析、被災地の要望等の集約、県災害対策本部への提案・提言等を行ったところであります。

自民党岩手支部連合会・県議会自由民主党では、令和元年台風19号非常災害対策本部として10月22日、被害が特に甚大であった普代村、宮古市、山田町、釜石市の現地を視察し、各市町村からの要望等を取りまとめたのち、11月6日、岩手県知事に対し要望を行いました。

特に復旧方針として改良復旧を前提に進めること。国と市町村との補助スキームの隙間をしっかりと埋められるよう県独自の細やかな支援策を講じること。災害廃棄物処理については東日本大震災津波発災時の全国からの広域処理への謝意を

示すためにも県内で受け入れ可能な自治体等と早期に協議を進め、他県からの受け入れについても検討を進めること。以上、3点については県の役割としてしっかりと進めて欲しい旨、強く要望したところです。

現在、要望項目のほとんどについて県には前向きに進めていただいておりますが、被災地の住民の皆さんからは被災箇所の詳細な原因の分析と対策など、多くの要望をいただいていることから、そういった声をしっかりと受け止め、復旧・復興に活かしてまいりたいと思っております。



知事要望

「原形復旧」から「改良復旧」へ



自民党 鈴木総務会長へ

11月12日、令和元年台風19号災害からの復旧・復興に関する要望で自民党岩手県支部連合会・県議会自由民主党の合同要望で自民党本部・関係省庁を訪問しました。

自民党本部では二階幹事長、地元の鈴木総務大臣へ。また、復興庁では地元の藤原政務官、総務省では鈴木事務次官、林野庁では小坂森林整備部長、国土交通省では五道水管理・国土保全局長へそれぞれ要望を行ったところです。

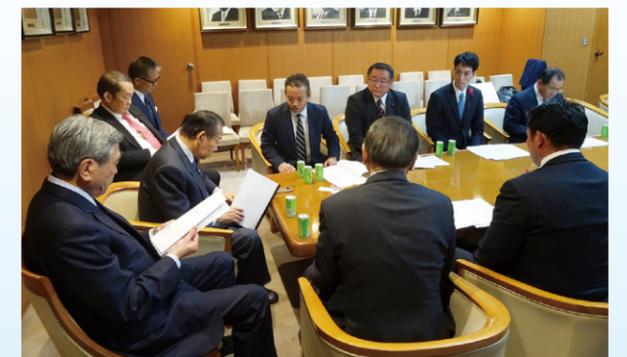
大きく8項目について要望を行いました。特に災害からの復旧にあたっては、現状に戻す「原形復旧」が国のこれまでの基本的な考え方ですが、気候変動に伴い本県でも時間雨量がこれまでの想定をはるかに超えていることなどから、事前防災の考え方のもと、「改良復旧」を進めて欲しいこと。また、三陸鉄道の復旧にあたっては、東日本大震災津波と合わせ2度目の被災となることや県と沿線市町村の財政基盤が脆弱であることを鑑み、過去の支援スキームを参考に、最大限の財政支援を要望してまいりました。

現在、国の大きな方針として、「改良復旧」を

推進することが決定し、各都道府県、各市町村にも通達が出されております。

三陸鉄道については、本来のルールであれば国が1/3、県と沿線市町村が1/3、運営主体である三陸鉄道が1/3を負担することとなっておりますが、国には熊本地震の際の南阿蘇鉄道の復旧スキームを採用していただき、97.5%を国が負担し、残りの2.5%を県と沿線市町村が負担、三陸鉄道の負担はゼロという財源スキームで復旧が進められております。

引き続き、住民の皆さんが安心して生活できる社会インフラの整備に努めてまいります。



自民党 二階幹事長へ

市町村重点要望調査を実施



二戸市において

11月13日を皮切りに自民党岩手県支部連合会・県議会自由民主党会派合同で毎年行っている市町村重点要望調査を実施いたしました。

この活動は岩手県内の全33市町村を訪問し、各市町村の要望をヒアリングする活動であります。

が、昨年に引き続き、今年も各議員が自分の選挙区だけでなく、県内全体の課題を把握することにより、総合的に戦略や政策が立案できるよう、全員参加で行いました。

調査は計6日間をかけて行い、各市町村の要望を取りまとめたところ全部で194項目となりました。道路・河川などの社会インフラの整備が最も多く、農林水産業の振興、医療・福祉体制の充実、東日本大震災津波からの復興、県立高校の存続、ILC国際リニアコライダーの誘致実現、テレビ共同受信施設改修への財政支援、地域公共交通確保対策等々、多岐にわたり要望をいただきました。

12月5日、取りまとめた194項目について岩手県知事に要望を行いました。県には、しっかりと各市町村と連携を図っていただき、着実な課題の解決に努めていただきたいと思います。

毎年恒例の中央陳情を実施



麻生財務大臣へ

12月12日、毎年恒例の自民党岩手県支部連合会・県議会自由民主党合同の中央陳情を実施いたしました。

財務省では麻生太郎大臣へ、厚生労働省では加藤勝信大臣へ、復興庁では藤原崇政務官へ、農林水産省では藤木眞也政務官へ、国土交通省では山田邦博技監へ、また自民党本部では岸田文雄政調会長へ要望を行ったところです。

今回の要望は、今年の市町村重点要望調査の中で国に関するものを取りまとめた上で要望をさせていただきましたが、要望とともに国の来年度予算や政策の推進方向などについても、様々な意見交換もさせていただき、充実した活動でありました。

県内33市町村の重要な要望です。成果としてしっかりと市町村にお返しできるよう、自民党岩手県支部連合会・県議会自由民主党として、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

2021年度以降の国の復興方針について

12月10日、岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会が開催され、県のこれまでの取り組みと被災地の現状、また12月9日、東京で開催された国の復興推進委員会の内容などについて説明がありました。

国の復興推進委員会の内容については、これまでの復興施策の総括や復興・創生期間後の基本姿勢、各分野における取り組みなどが示されました。2020年度までの復興・創生期間後の財源の確保や必要な事業・制度の継続については一昨年から自民党岩手県支部連合会・県議会自由民主党としても国に対し要望を続けてまいりましたが、今回提示された内容は本県の復興の完遂に向けて、十

分に配慮されたものと感じています。

東日本大震災津波復興特別委員会では、被災地の地域経済がかなり落ち込んできていることから、市町村民所得などの数字もしっかりと把握をしながら産業施策を強力に展開して欲しいということ。また、放射線物質汚染の農林業系副産物の早期処理に向けた取り組みなどについて質疑を行いました。

3月には発災から9年を迎えますが、被災地ではまだまだ多くの課題を抱えています。第一に2020年度の復興・創生期間内の復興完遂を目指すとともに、期間内に終わらない事業や長期的に必要な支援を継続しながら、真の復興に向けて、引き続き活動してまいります。

決算特別委員会より

県議会9月定例会の決算特別委員会に取り上げた質問について、その一部をご報告いたします。



また、県内の複数の特別支援学校でも、同様の要望があることから、障がいをもつ子どもの教育機会の確保や父兄の負担軽減という観点から、引き続き取り組みを進めてまいります。

いじめ対策の充実について

いじめ問題はこれまでも取り上げてまいりましたが、認知件数を向上させることにより、いじめの早期発見を進め、重大事態（生命・身体・財産に重大な被害が生じた疑い、不登校）を招かないよう国のいじめ防止対策推進法に基づき、県においても取り組みが進められてきました。そのような中で、本県のいじめ認知件数は着実に伸び続けておりますが、一方で重大事態は昨年度も13件発生しており、1件は犯罪行為に該当するものであります。

また、児童・生徒へのアンケート結果によるとパソコンや携帯電話で誹謗・中傷や嫌なことをされている事案が低年齢化している実態も浮き彫りになってきていることから、それらの対策の充実について質問を行ったところです。

今後とも、児童・生徒を加害者にも被害者にもしてはいけないとの認識のもと、教育委員会・学校・家庭など、様々な連携を図りながら、いじめ対策の充実に向けてまいります。

釜石祥雲支援学校のスクールバスの充実について

特別支援学校のスクールバスの運行については、釜石祥雲支援学校の父兄から要望を頂戴したことから、私もその実態を把握し、7月に大槌町長らとともに県教育長に対し、運行の充実に向けた要望を行ったところでありますが、改めて運行の必要性和要望後の検討状況等についてとりあげました。

釜石祥雲支援学校のスクールバスについては、現在一部で運行をしておりますが、児童・生徒の一部しか利用できないことから、運行ルートの拡充を求めているものです。県教育委員会と学校側において連携のもと、運行に向けた協議を進めていただいております。そう遠くない時期に試験的に運行が開始される見通しです。

「岩手県部局等設置条例の一部を改正する条例」に反対の討論



県議会 12 月定例会には、「岩手県部局等設置条例の一部を改正する条例」が提案されました。

この条例は現在の秘書広報室と政策地域部を再編し、新たに政策企画部とふるさと振興部を設置する条例であります。再編の最大の趣旨とされているいわて県民計画（2019～2028）の着実な推進という観点から、常任委員会等の質疑において納得できない点が多かったことから、採決に反対するとともに、その理由について反対討論を行いました。

反対した理由は主に4つであります。1つに今回の再編が2つの部局だけの極めて部分的・局所的であり、いわて県民計画を推進するための検討が不十分なまま提案されたこと。2つ目に再編の具体的な理由が乏しいこと。3つ目にふるさと振興部内に設置しようとしている地域振興室、県北・沿岸推進室と広域振興局体制を含めた検証が全く見えないこと。4つ目は本庁と広域振興局、出先機関（東京事務所など）を含めた組織全体の哲学が曖昧な点であります。

以上の理由から、自由民主党会派として、いわて県民計画の着実な推進に向け、本質的・抜本的な組織再編の見直しを求めるとともに、一度議案を差し戻して、県当局において再考願いたいとの思いから当議案に反対したものです。

結果として6割の賛成（4割は反対）をもって可決されましたが、私たち県議会は二元代表制の一翼を担う立場として、提案された議案等が県民の幸せや本県の発展に資するものかどうかをしっかりと審議し、納得できないのであれば、県知事に対し、再考を促すことや否決することが私たち議員個々に与えられた議決権であり、県議会としての役割です。今後とも、県民目線で是々非々で臨みます。



活動報告

活動の一部を写真で振り返ります。



【4月】県政報告会を開催



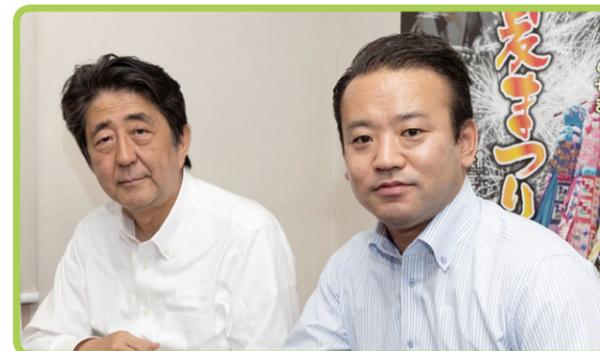
【5月】環境福祉委員会の視察で名取トレイルセンターを視察



【6月】釜石・大槌管内の復興の進捗状況（防潮堤・根浜海岸・浪板海岸など）を視察



【6月】大槌町消防演習に出席



【7月】安倍晋三内閣総理大臣と政策談義



【7月】大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟の総会に出席



【8月】漁港検診で大槌漁港・箱崎漁港・釜石漁港・小白浜漁港を視察（写真は小白浜漁港）



【11月】釜石祈りのパーク・いのちをつなぐ未来館を視察

岩崎友一のプロフィール

岩崎 友一

(いわさき・ともかず 41才)

誕生日 昭和53年9月18日
身長 165cm
体重 60kg
血液型 B型



自己紹介

趣味 野球、ゴルフ、DVD、音楽鑑賞、温泉旅行
座右の銘 「温故知新」
好きな食べ物 納豆、麻婆豆腐(辛口)、秋刀魚の塩焼き
長所 何事にも前向きなところ
短所 たまに突っ走りすぎる

経歴

平成元年 大槌町立安渡小学校 卒業
平成4年 大槌町立大槌中学校 卒業
平成7年 盛岡中央高等学校 卒業
平成13年 城西大学 経済学部 経営学科 卒業
平成14年 鈴木栄子司法書士事務所 勤務
平成18年 (株)ガルパート・ジャパン 勤務
平成22年 (株)大槌タクシー 専務取締役就任
平成22年 岩手県議会議員補欠選挙で初当選
平成23年 岩手県議会議員選挙で2期目当選
平成27年 岩手県議会議員選挙で3期目当選
令和元年 岩手県議会議員選挙で4期目当選 (現在に至る)

自由民主党岩手県支部連合会の役職

平成30年1月～ 幹事長
平成25年12月～平成30年1月 政務調査会長
平成22年10月～平成30年5月 青年局長

県議会の役職等

令和元年9月～
総務委員会 委員
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
人口減少対策調査特別委員会 委員
平成30年1月～
自由民主党 会派代表
平成29年10月～令和元年9月
環境福祉委員会 委員
東日本大震災津波復興特別委員会 副委員長
防災・減災対策調査特別委員会 委員
議会運営委員会 委員
平成27年11月～平成29年10月
ふるさと創生・人口減少調査特別委員会 委員
平成27年9月～平成29年10月
総務委員会 委員
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
議会運営委員会 副委員長
平成26年10月
決算特別委員会 委員長
平成25年10月～平成27年9月
総務委員会 委員長
議会改革推進会議 副座長
平成25年10月～平成27年7月
スポーツ振興等調査特別委員会 委員
平成24年10月
決算特別委員会 副委員長
平成23年11月～平成25年10月
地域資源活用による観光振興等調査特別委員会 委員長
平成23年9月～平成27年7月
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
平成23年9月～平成25年10月
農林水産委員会 副委員長
平成23年9月～平成24年7月
議会運営委員会 委員
平成23年4月～平成23年9月
災害対策特別委員会 委員
平成22年8月～平成23年9月
県土整備委員会 委員
平成22年8月～平成23年3月
平泉世界文化遺産推進調査特別委員会 委員
地域医療等対策調査特別委員会 委員
初当選 平成22年8月2日

FACE BOOK
もやっています

岩崎友一公式ホームページ <http://iwasakitomokazu.com>

ブログ更新中

編集後記

昨年9月の県議会議員選挙を終えて、会派名をこれまでの自由民主クラブから自由民主党へ変更し、新たなスタートをきりました。(写真は9月に撮影したもの)

私は引き続き会派代表を務めます。所属議員の政策立案能力の強化を図るため、政務調査会長と連携した取り組みを推進するとともに、県民の皆さんお一人おひとりに政治をより近く感じていただけるような活動にも注力していきたいと考えております。

自由民主党を宜しくお願い申し上げます。(岩崎友一)

